

# 市長が行く

## 復活 茂原七夕まつり

No.149

茂原市長 田中豊彦



ここ数年コロナ禍で中止を余儀なくされてきました茂原七夕まつりを、今年は7月29日(土)、30日(日)の2日間で行うことになりました。今までは3日間の開催でしたので、2日の開催となると時間の配分等不安はありますが、久しぶりの七夕まつりということで、市内外から訪れてくれる人たちの思い出に残る七夕になればと願っています。それにしても、コロナの影響はいろいろなどころに出て、この数年間で飾りを制作していた業者さんたちが廃業に追い込まれたりしたため、急遽新たな業者を探すことになったり、踊りを披露してくれていた方たちの中にも練習ができず辞退されるチームがあつたりと、なかなか思うようにいきません。コロナ後、さまざまな困難を乗り越えて、リスタートとなる七夕まつりなので、市民の皆さんには大目に見ていただけたらと思っております。

コロナ禍において、多くの人が集まる行事はことごとく中止に追い込まれ、出掛けたり、人と会ったりすることも制限され、私たちの心も、閉塞感や不安感にさいなまれてきました。

追い打ちをかけるように、ロシアのウクライナ侵攻、北朝鮮のミサイル発射、異常気象による世界各地での自然災害など、暗いニュースばかりで、心も疲弊気味です。

ここで、七夕まつりをするこの意義は、人々の心に明るさと元気を取り戻すことではないかと考えます。美しい七夕の飾り、大勢の人が集まるまちのにぎわい、心わくわくするような踊りなどを通して、皆さんに感動を与えられたらと思います。

とはいえ、やはり心配なのは、大勢集まることで、コロナ感染のリスクが高まることです。今年になってコロナが、2類から5類(※)になり、マスクを着けることも本人の自

由になり、飲食店への制限も緩和されました。がしかし、ウイルスがなくなつた訳ではなく、感染のリスクは変わらずあります。またここへきて、感染者が少しずつではありますが増えてきているのも事実です。今のコロナは重症化することを以前ほど心配しなくてもよいような風潮を感じられますが、それでもくれぐれも油断しないよう、各自が対策をしっかり取ることも必要と考えます。しっかりとした感染対策を取って、心がスカツとするような楽しい七夕まつりにしたいものです。

### ※感染症法上の分類

感染症法では、危険度の高い順に1類から5類まで感染症を分類している。

- ・2類 結核、ジフテリア など
- ・5類 インフルエンザ、麻しん など